

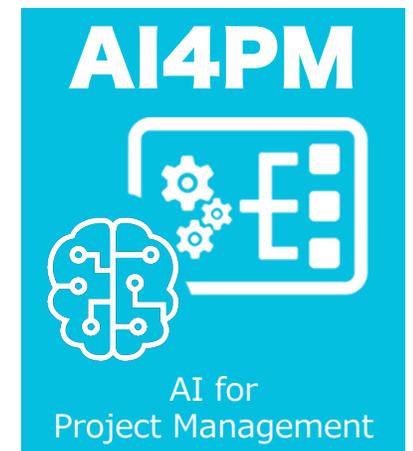
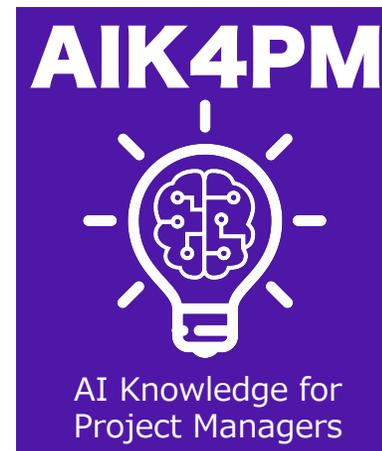
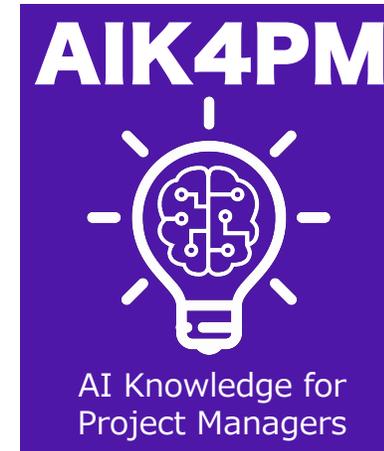
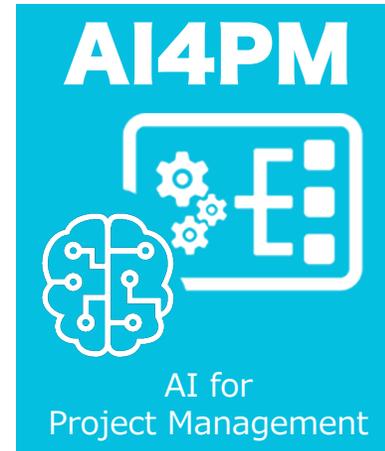
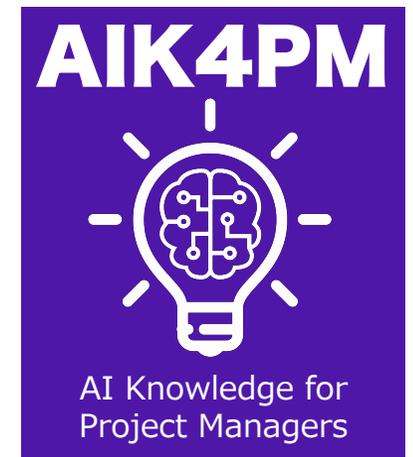
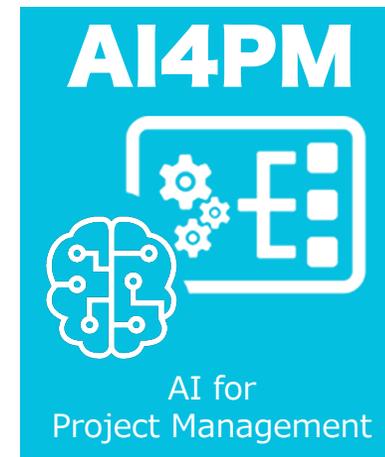
AI@Work 2021 Kick off

2020 Retrospective and 2021 Plan

2021年1月27日

AI@Work Study Group

PMI Japan



AI@Work 新設発表 (2019年12月3日)

AIの適用・活用をプロジェクトマネジメントの視点で捉え、あるべき姿や進め方を探求する、新たな研究グループAI@Workを設立いたします。

目的 (Purpose)	社会や経済に新たな影響力をもつAI、その適用・活用をプロジェクトマネジメントの視点で捉え、あるべき姿や進め方を探究・共有する
役割 (Mission)	世界レベルでAIの活用が進む中、プロジェクトマネジメントの観点から、日本のAI適用・活用の加速を図る
めざす姿 (Vision)	AI適用・活用プロジェクトに関わる多様な方々と、AI利活用でのプロジェクトマネジメントのあり方や、それら知見の活用・有用性を共有し、PMコミュニティを通じた醸成・発展に努める
戦略と 主要活動 (Strategy & Main Action)	<p>Making Opportunity: 研究・理解・共有の機会づくり</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Case Study (ユースケースや進め方の探究) 2. Understanding of Technologies (AI技術の理解深耕) 3. Sharing Knowledge (各種の発信と情報共有)
基本事項 (Concept)	<p>Small Start (小さく始め大きく育てる)</p> <p>Sharing (知見の持ち寄り、情報共有・発信に努める)</p> <p>Speciality (専門力を強化する)</p>

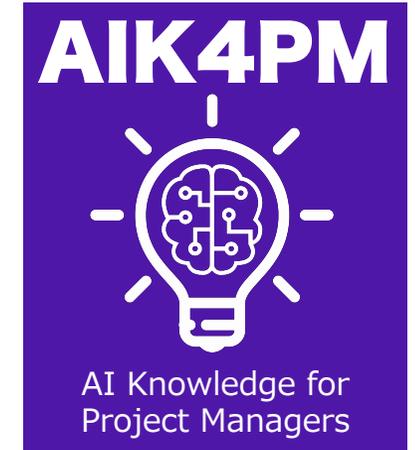
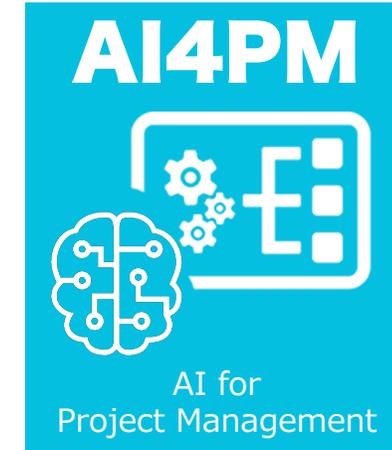
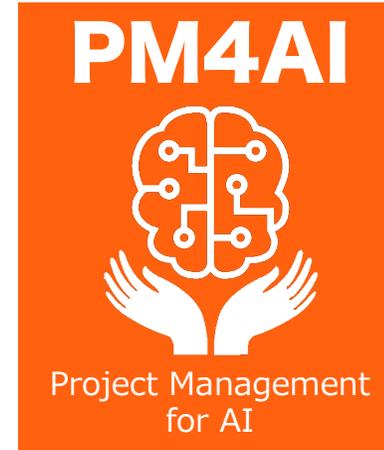
募集開始14日間で
116名の申込

1/31 Kick off 129名
会場参加73名

COVID-19
K/Oが最初で最後の
Face to Face

AI@Work Study Group 概要

- 2020/1/31 Kick off
- メンバー125名 (as of 2021/1/5)
- 3 Working Groups
PM4AI, AI4PM, AIK4PM
- 半年1 Cycle×2回 + Conference
- Slack + Virtual会議



AI@Workの推進体制

WG1

PM4AI
Leader 板橋 宣孝
Sub Leader 小山 恵一郎
運営支援メンバー

AI@Work
代表 武上 弥尋
副代表 渡邊 恒文

AI@Work
運営支援 (TBD)

PMIJ 事務局
三島 邦彦

WG2

AI4PM
Leader 林 克郎
Sub Leader 栗野 哲兵
運営支援メンバー

WG3

AIK4PM
Leader 佐藤 美一
Sub Leader 細水 真人
運営支援メンバー

**AI@Work
Advisory Board**
PMI WW 神庭 弘年
PMI Japan
森田 公至, 齋藤 学, 松本 弘明

Being AI Ready!



AI@Work – 2020年の成果

(as of 2021/1/18)

Virtual前提の運営で、自由で柔軟な環境を実現。研究とその価値を高める活動へ、シフトし注力。

Big is good

- 探求すべき/したい領域が多岐にわたるのがAI

- 大人数だからこそできることもある

21テーマ
29チャンネル
125名

Anywhere

- IT Toolの有効活用
(Slack + Virtual会議、Slido 他)
- 場所の制約からの解放
時間の有効活用

Active members **60-80**

Virtual/Open Collaboration

- Slack + Virtual会議で活発に研究活動成果もSlackで全員に常時共有

Messages sent **4,008**

Diversity

- 多様な実務経験・世代・立場・役割
(ユーザー企業・ITベンダー・AIベンチャー etc.)
- 多様な視点をもたらす新たな気づき

User **1/3** IT **1/2**

New Generation

- Digital Native世代との協業
PPPM, PMI会員 以外の参加

Non-PMIJ member **32%**

Asset & Skill

Forum発表 初回Conference

2 枠 **102**名参加

File Uploaded JDLA G検定合格

965 **4**名

参考: AI@Work - Slack利用状況 (as of 2020/1/18)

PMI日本支部AI-at-Work

Channels

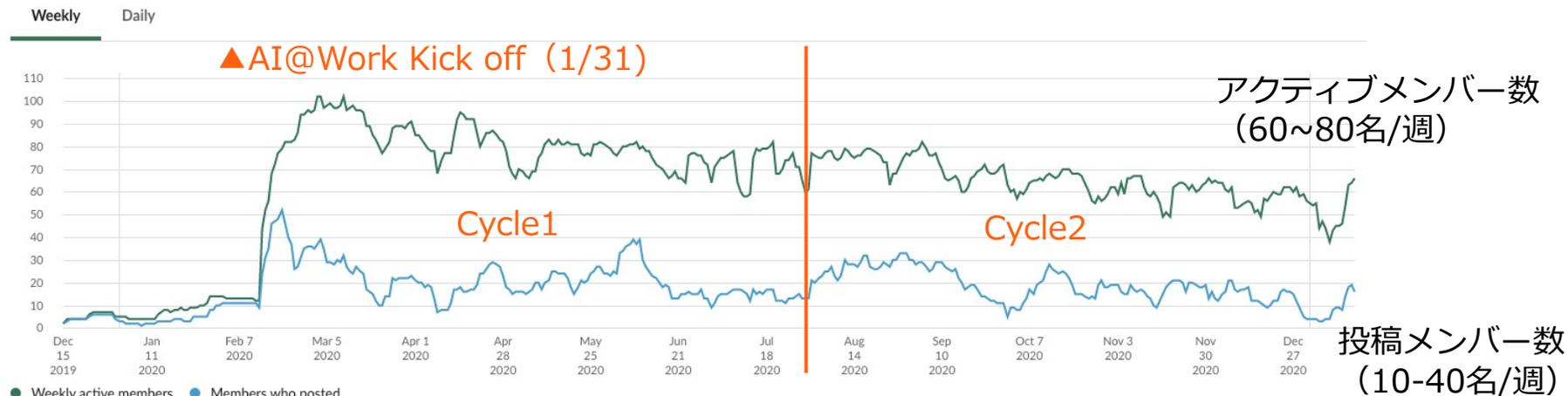
- advisoryboard
- # ai-at-work_final_doc
- ai-at-work_pmij-forum-2020
- ai-at-work-conference_200830_運営
- ai-at-work運営用
- # announcements
- # docs_copyrighted-to-others
- pi_data
- pmij_request_info
- # random
- # references
- # self-introduction
- wg1
- # wg1_aiリスク
- # wg1_cases
- # wg1_mlops
- # wg1_pocからの実用化
- # wg1_theme
- # wg1_プロジェクトマネジメント仮
- # wg1_全般的な差異
- # wg1_顧客価値創出
- wg1運営用
- # wg2
- wg2運営用
- # wg3
- # wg3-g検定team
- wg3運営用
- 事務局連絡
- 運営ツール課題

29
チャンネル

Active members アクティブメンバー数 (全期間*)

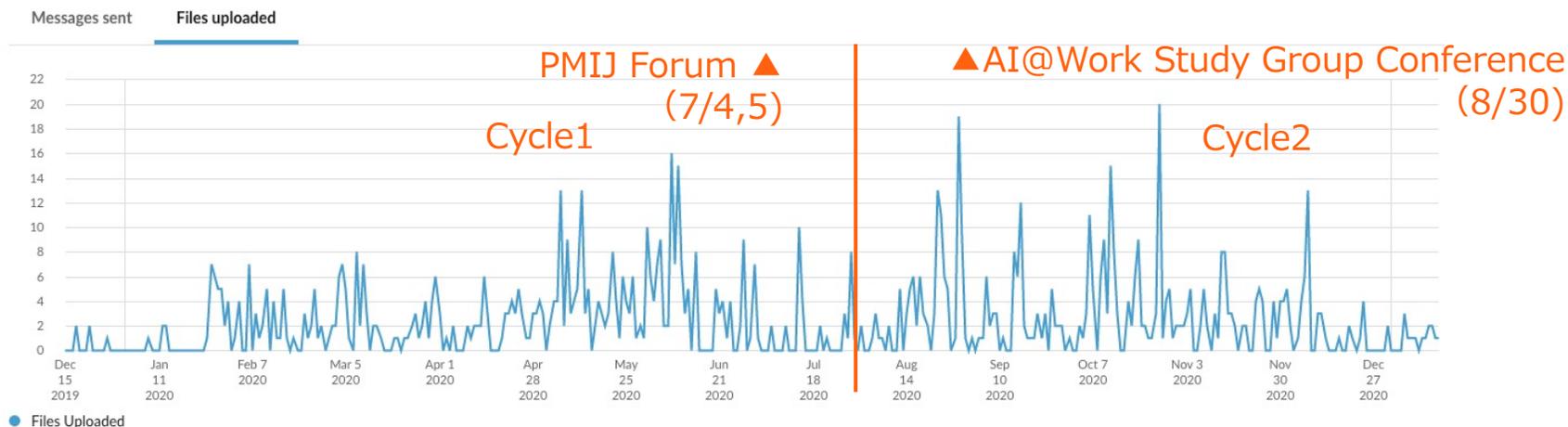
See how many people are active – meaning they posted a message or read at least one channel or direct message.

*Standard PlanによるAnalytics (期間限定無料トライアル:1/18終了)



Messages and files ファイルアップロード数 (全期間*)

Learn how information is shared in your workspace.



全期間ファイルアップロード数 (965)

All time
Files uploaded: 965

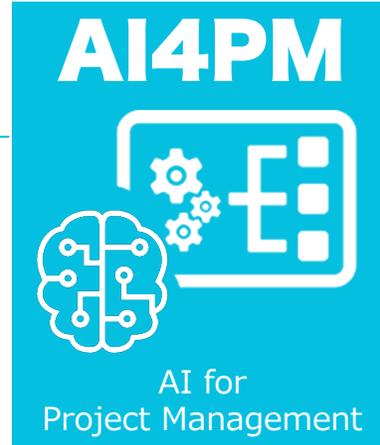
参考: 2020年実績 - Cycle 1 各WG研究テーマ

日々のやりとり (Slack) と月次ミーティング (Virtual MTG+Slido+Slack) で推進



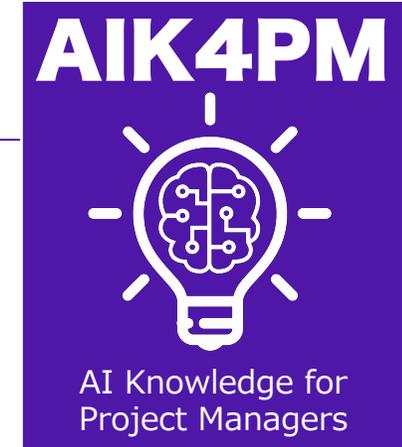
7

- ・ベンダーに発注する際の開発契約の留意点
- ・アノテーション
- ・PoCから実用化移行への成功要因
- ・運用保守 (MLOps)
- ・顧客への新たな価値提供
- ・AIプロジェクト特有のリスク
- ・全般的な従来型プロジェクトとの差異



2

1. サブグループA
悪化、失敗、
リスクに関する予兆・予測
2. サブグループB
現状の見える化
情報処理のサポート



2

1. AI知識の習得
- 課題図書 of 輪講
『俯瞰図から見える
日本型“AI(人工知能)”
ビジネスモデル』
大野治, 2017.12.
2. PMに求められるAI知識の習得
- AIプロジェクト事例紹介

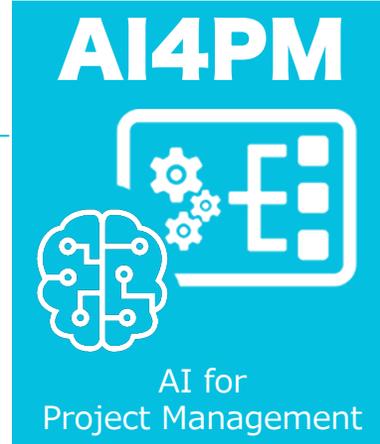
参考: 2020年実績 - Cycle 2 各WG研究テーマ

Cycle1での活動結果を踏まえ、さらなる深耕および新規のテーマを設定



7

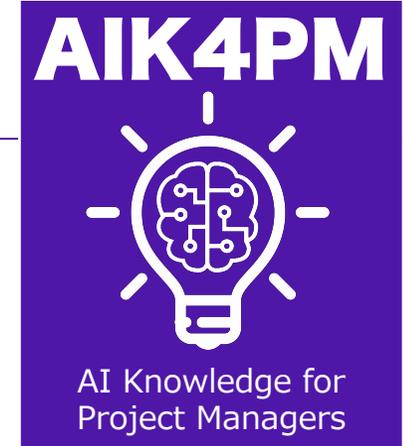
- プロジェクト成功要因・PoCから実用化への移行アプローチ方法
- 保守
- ベンダー発注側の作成する要求定義・RFP
- アノテーション
- AIプロジェクト特有のリスク
- 全般的な従来型プロジェクトとAIプロジェクトの違い
- AIプロジェクトマネジメント



1

Cycle1での検討ノウハウを結合、実現に向けての課題について、調査・整備

- ・現在のAI技術で実現可能な範囲
- ・情報をAIで統合管理するためのデータモデル論の整備

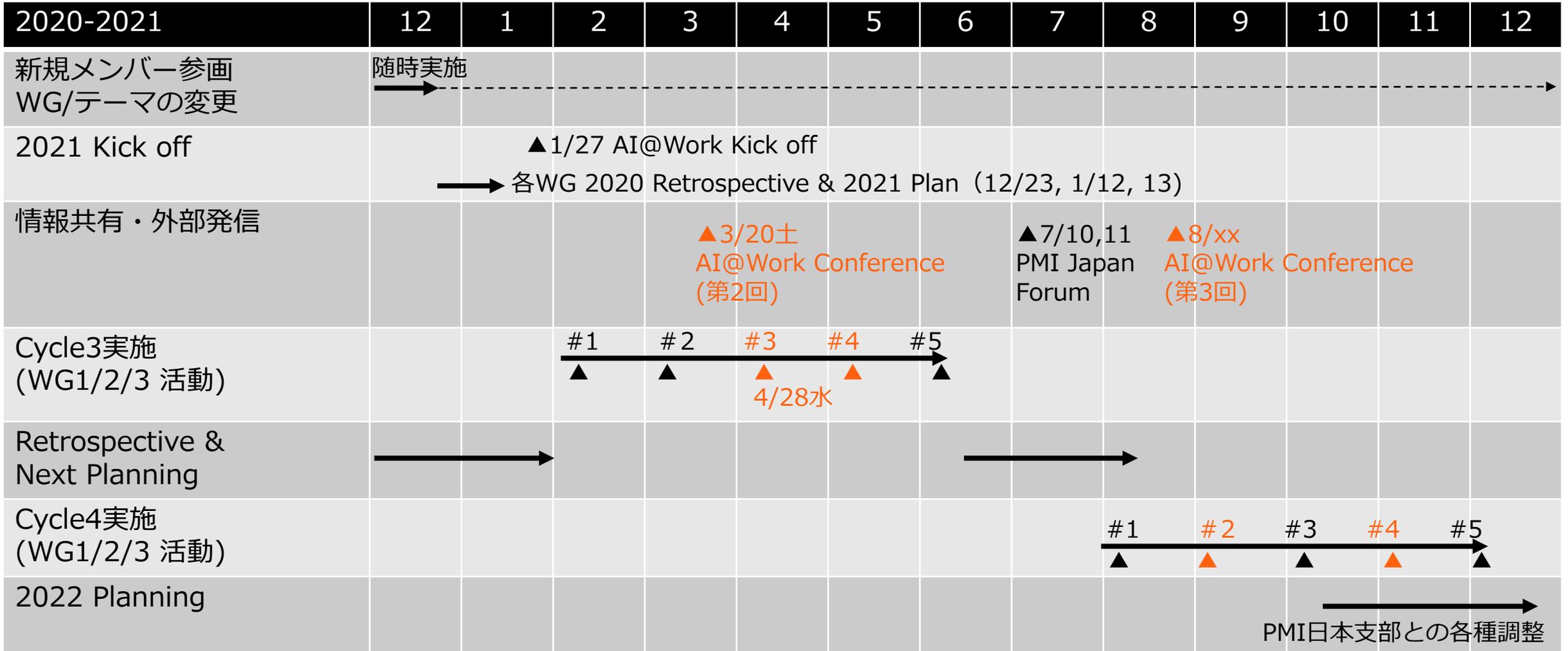


2

1. AI知識の習得
課題図書 of 輪講
『AI白書2020』
IPA, 2020.3.2
2. グループ別ディスカッション
 1. 輪講内容の深堀
 2. Deep Learning G検定勉強会

AI@Work - 2021 Master Schedule (as of 2021/3/10)

半年を1 Cycle、年2回のConferenceとRetrospectiveを軸に、より広く高度な知見共有を図る



AI@Work – Next Step (as of 2021/1/27)

今後、4つの方向性で取り組みを拡大し、成果のアセット化と研究内容の発展を図る

- AI分野の日進月歩に加え、知見の多くがPMIの外に存在、外部との連携は活動の前提
- AI×PMの視点（PM4AI/AI4PM/AIK4PMなど）は普遍性あり、日本・世界でもまだ限定的
- 質の高い知見を、内外に共有・発信することで、存在価値を高めていく

Go To AI Community

- 核となる知見に関し、より専門的・高度な議論ができる場としていく
- AI関連学会との連携 など

Go To Global Community

- AI×PMの視点
PM4AI/AI4PM/AIK4PM
の普遍性
- PMI Global などでの
連携・発信

Go To Evaluation

- 研究内容を磨き上げ
世に問う知見としていく
(新規性・有効性・信頼性)
- 広域調査・事例収集の追加
PDSA (Plan-Do-Study-Act)

Mindset

- パンデミックにより加速されたDigital Transformation、Innovation、AI Readyの必要性 など

First Step to
AI Ready...

AI@Work
Study
Group

